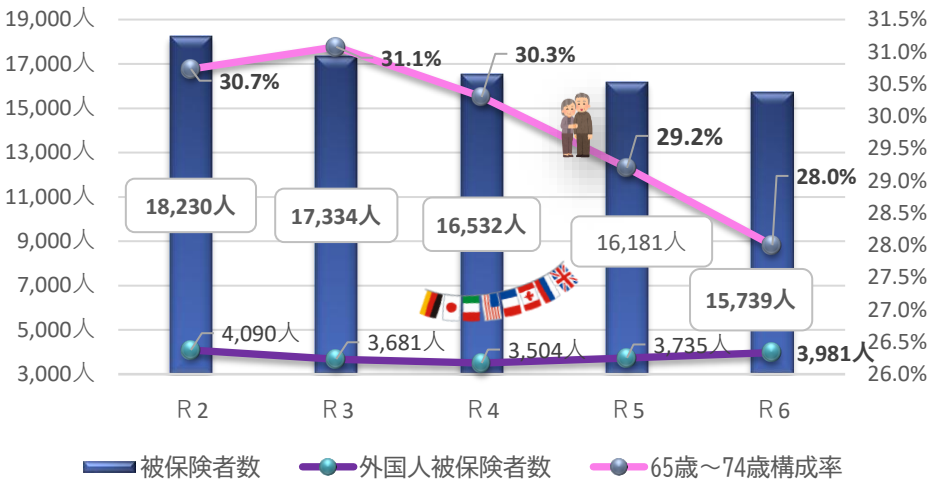
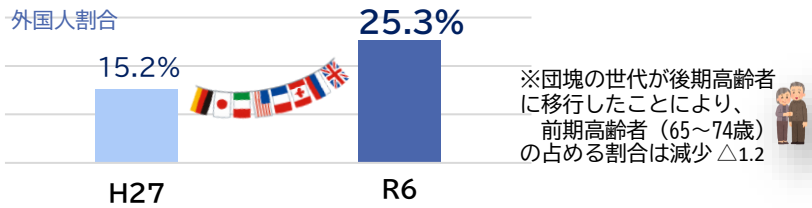
令和6年度　決算（見込）状況について（国保特別会計）

資料２

１．被保険者数・外国人被保険者数・高齢化率　推移（年度末）

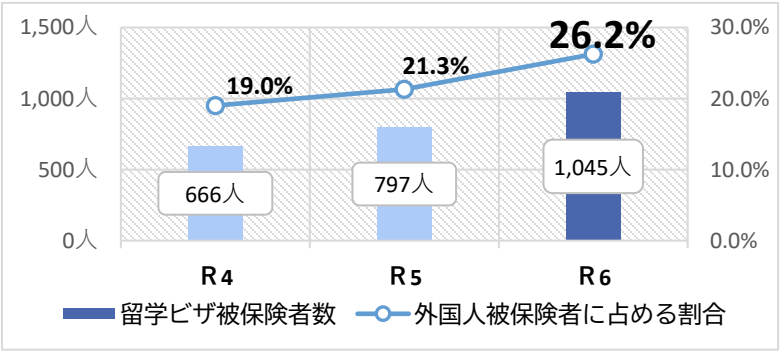


外国人被保険者数は、“４人に１人”に　10年で１０%の増

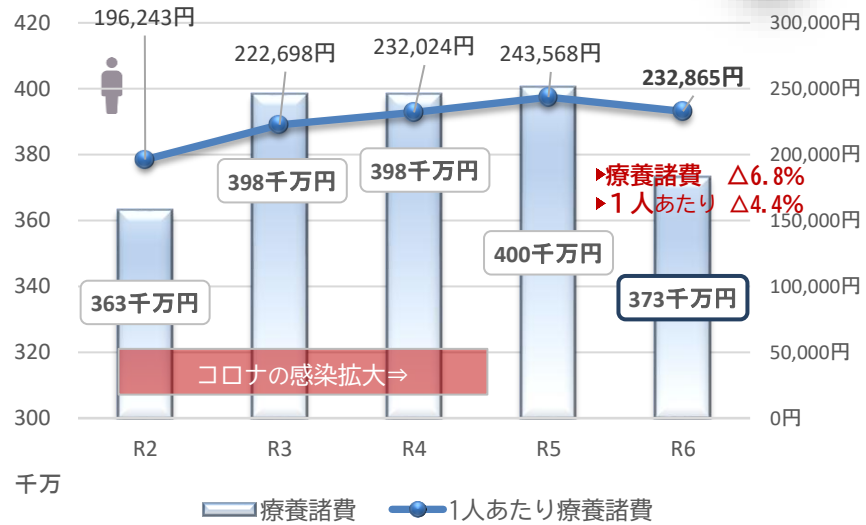


※団塊の世代が後期高齢者に移行したことにより、前期高齢者（65～74歳）の占める割合は減少 △1.2

“留学”ビザが、“1/4”　前年度比 4.9%・248人の増



２．療養諸費・1人あたり療養諸費　推移（決算値）



療養諸費　△6.8%・1人あたり療養諸費は　△4.4%　減少へ

・一人あたり療養諸費は減少したが、コロナ禍前は上回っている
　208,940円（R1）　＜　232,865円（R6）

１．子どもの医療費（0-9歳）の減（１人あたり・通院）

	R５	R６	増減
0-4歳	74,441円	57,844円	△16,597円
5-9歳	65,558円	51,638円	△13,920円

（疾病大分類別医療費・通院）

呼吸器系の疾患

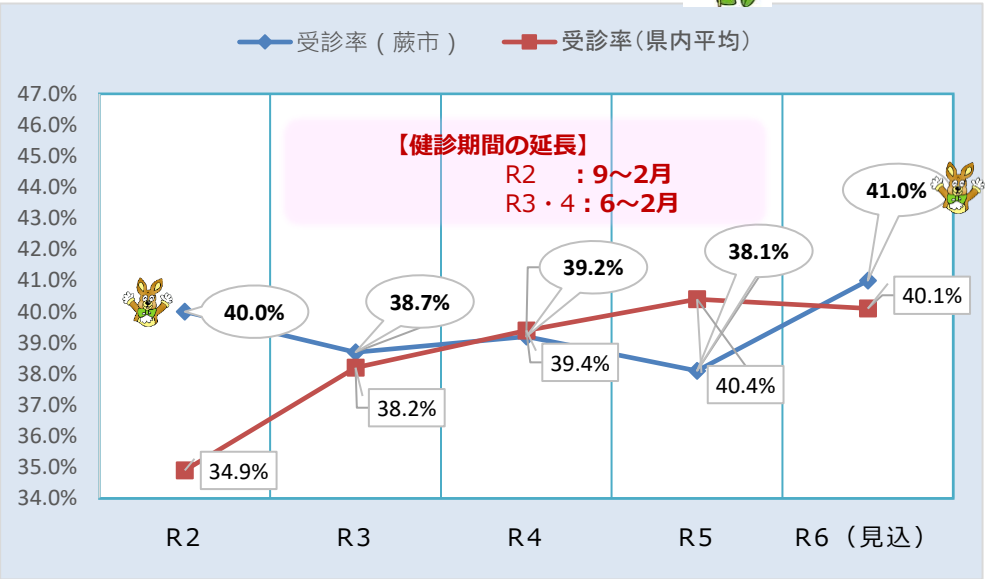
R5-R6比較
△11,806,740円

２．薬価改定 ▲０．９７%　（R6年4月1日施行）

調剤医療費

	R５	R６	
枚　数	100,646枚	98,853枚	△ 1.8
処方箋１枚あたり費用額	9,590円	9,519円	△ 0.7

3. 特定健診受診率　推移　（蕨市・県内平均）



受診率（見込）は　前年度を上回る見込み　+2.9%

・受診率（見込）は前年度・県内平均をともに上回る見込み
・市立病院との連携強化が受診率向上の一因となった

	R5	R6	増減
受診人数（市立病院）	496人	571人	+75人
市立病院受診割合	14.2%	15.8%	+1.6%

市立病院との連携強化（R6）

- ▸予約枠の拡充　20人→35人
- ▸電話予約時間の延長（10月）

受診率向上への取組みについて

新規 **通院中未受診者に対する受診勧奨通知**

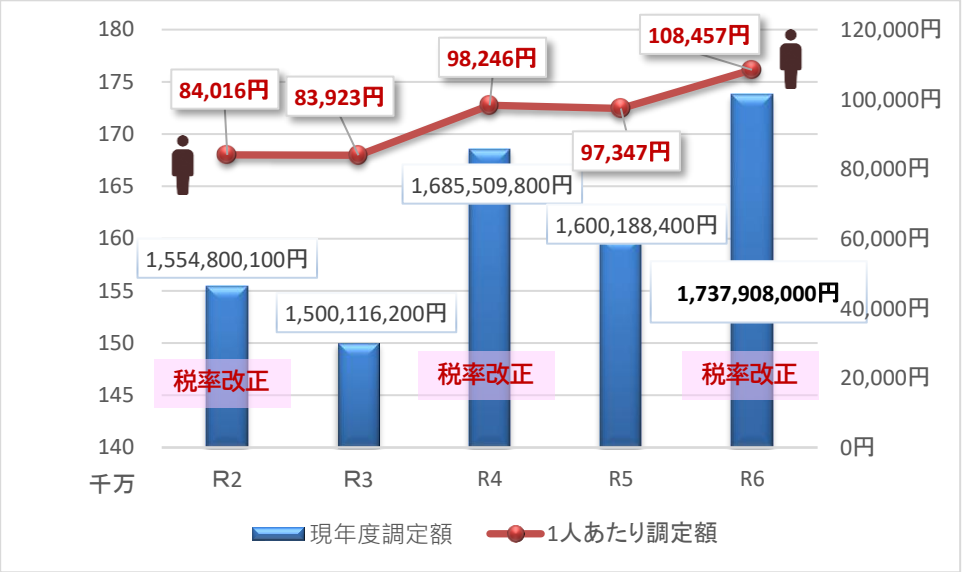
対象：生活習慣病に係る医療受診があり過去５年間特定健診未受診者で特定健診実施医療機関に３か月以上通院している者

268人→ 14.2%
（通知）　（特定健診28人 人間ﾄﾞｯｸ10人）

SMSによる勧奨

携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）を利用して、特定健診の受診勧奨を実施

4. 現年度　調定額・１人あたり調定額　推移　（決算値）



調定額は　8.6%の増・１人あたり調定額は　11.4%の増

・その主な要因は「税率改定」である

現年度　調定額　（前年度との比較）

- ●調定額　+137,719,600円
- ●1人あたり調定額　+11,110円

子育て世帯への支援　ー未就学児・産前産後の軽減ー

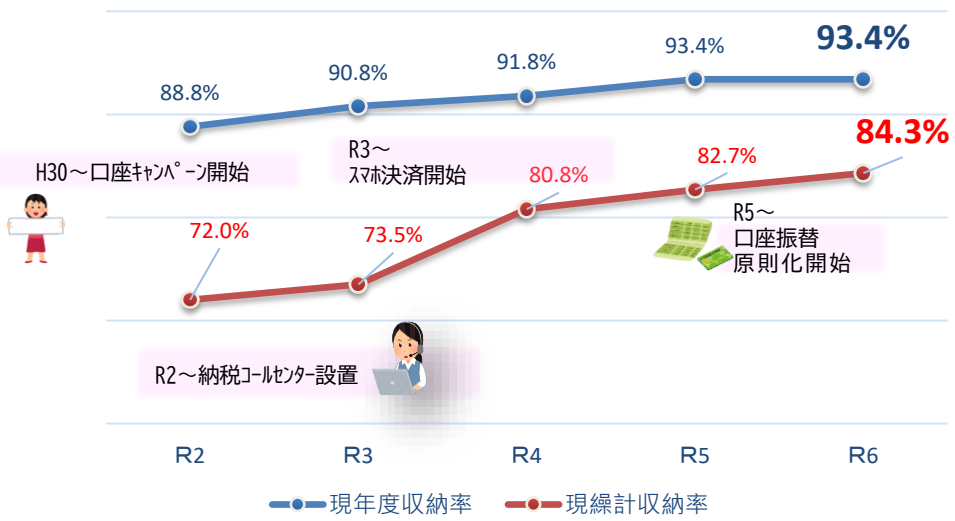
【未就学児・均等割軽減繰入分】
R４～

	軽減人数	軽減額
R5	503人	5,712,175円
R6	467人	7,079,831円

【産前産後・軽減繰入分】
R６.1～

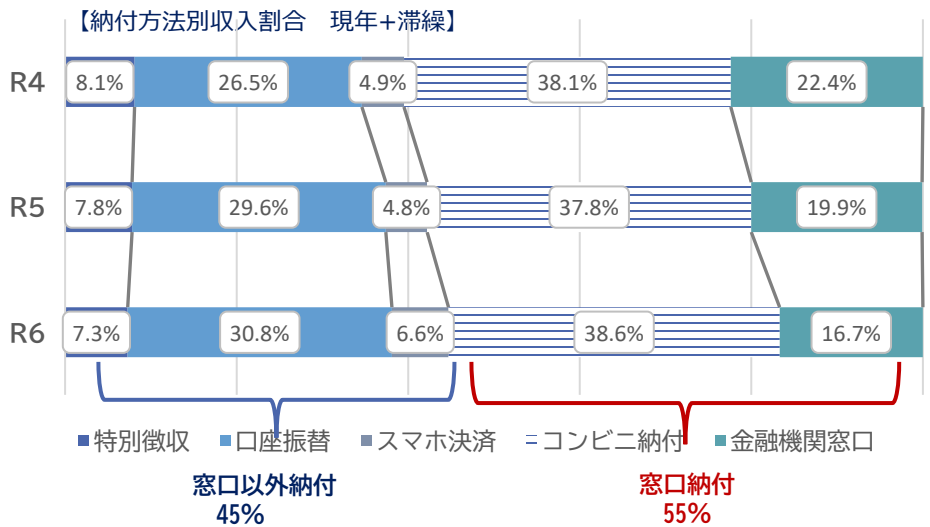
	軽減人数	軽減額
R5	38人	379,608円
R6	59人	2,016,354円

5. 保険税収納率の推移 （現年度・現滞計）

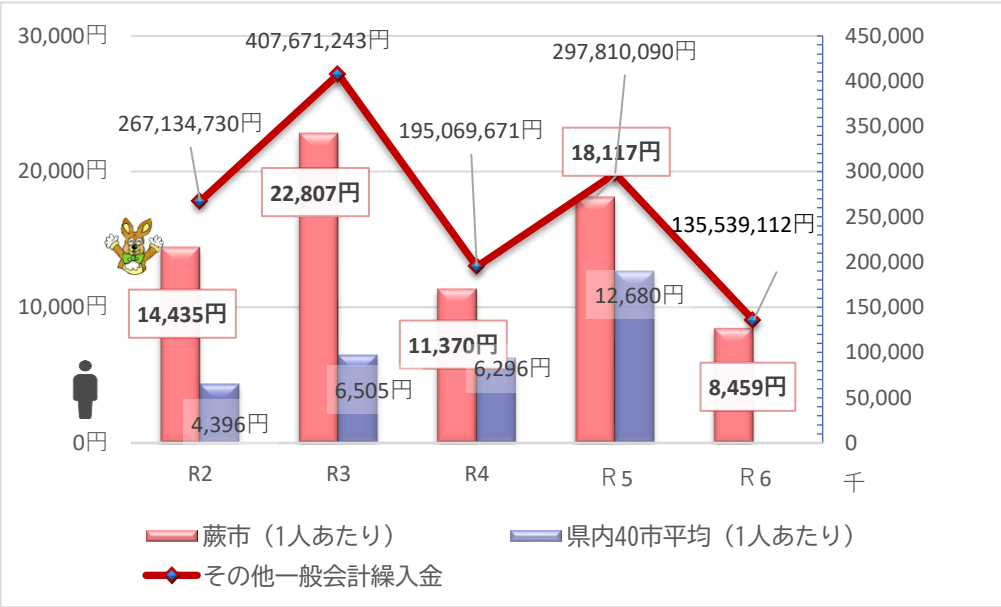


進む“納付方法の多様化”とキャッシュレス決済

・Ｒ３から「スマホ決済納付」、Ｒ５から「口座振替原則化」を開始
キャッシュレス決済は拡大しつつある



6. その他一般会計繰入金・１人あたり繰入金額　推移



その他一般会計繰入金は　約５割超の 減

・税率改定による保険税収入の増がその主な要因　　+約１億2,864万円（現年度）

年　度	R４ 決算額	R５ 決算額	R６ 決算額
その他一般会計繰入金	195,069,671円	297,810,090円	135,539,112円
対前年度比	△52.2	+52.7	△54.5
要　因	①納付金・減 △1,300万円 ⇒被保険者数の減少 ②保険税収入・増 +1億9,000万円 →税率改定 ⇒所得の増	①保険税収入・減 →被保険者数の減少 年度平均　△718人	①納付金・増 ＋1,040万円 ⇒一人あたり医療費の増 ②保険税収入・増 +1億750万円 ⇒現年+滞繰 →税率改定